

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
1 震災の教訓、森林整備 で水資源の確保を	(1) 震災時を振り返ると、ありとあらゆるものが
	無い、紙1枚、ペン1本さえ無い状態でした。
	震災から10年経とうとする今、当時の経験を教
	訓として今後に活かすべきと考え、その中から
	特に、水の確保について伺います。
	本町には各地に30数か所の沢や小河川があ
	り、それらが震災時には非常に役に立ちまし
	た。これからもいろいろな災害が予想され、宮
	城県沖地震の確率も高まっています。
	地域の水を大切にし、見直し、間伐や植樹な
	ど、森林整備による水資源の保全、確保に努め
	てはいかがですか。
	(2) 私はこれまで多自然川づくりを提案してきま
	した。令和2年度版の宮城県環境白書57ページ
	にも多自然川づくりを推進と書かれています。
	清水地区の親水公園は計画どおり進んでいま
	すか。多自然川づくりの考えは取り入れてあり
	ますか。
	(質問の相手：町長・担当課長)

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
2 風力発電所計画の 熟考を	1月20日の河北新報で、京ヶ森に重複してオリックス、日立サステナブルエナジー2社が風力発電所を計画していると報じられました。
	(1) 公有地、民有地の区分、地権者はどのくらいですか。
	(2) 令和2年8月に行った町長の意見はどのような内容ですか。
	(3) バードストライク、低周波、作業道路など森林伐採、土砂崩れ、水資源の低下、動植物への影響等、数多くの問題が指摘されています。
	景観についても、海の望める町同様、自然の稜線の望める町でありたいと思います。
	いかが考えますか。
	(質問の相手：町長・担当課長)